

千葉市中央区人工呼吸器等を装着した方の災害対策を考える会

令和6年1月27日

中央区基幹相談支援センター
管理者 伊藤佳世子



事業の概要



【目的】

4年前の台風による停電時に、人工呼吸器装着の方が電源確保のための避難の際に情報が錯綜し避難行動が効率的にできなかった等の経験から、中央区在住の主に人工呼吸器装着者の方の避難行動要支援者のための個別支援計画の作成が必須であると考えられる。まずは、人工呼吸器装着者の個別支援計画作成から始め、避難行動要支援者のうち、個別支援計画の必要性の高い方々へと汎用可能にしていきたい。



これまでの活動 状況報告

4月20日(木)15時～ 会議

5月18日(木)15時～ 会議

6月15日(木)15時～ 会議

7月20日(木)15時～ 会議

8月17日(木)15時～ 会議

9月21日(木)15時～ 会議

10月11日(水) 「個別避難計画の作成説明会」

10月19日(木)15時～ 会議

11月16日(木)15時～ 会議

1月18日(木)15時～ 会議

電源がないと命に係わる方や
重症心身障害児者のための



個別避難計画の作成説明会

令和5年10月11日(水)
14:30~16:00

千葉市役所 高層階3F L303会議室
千葉市中央区千葉港1-1

個別避難計画の作成について、書き方や進め方について説明します。

- ①防災対策課より趣旨説明
- ②ぽらりす景山氏より個別避難計画の作成方法の説明
- ③防災対策課より作成にあたっての契約についての説明

お申込みはコチラから
お願いします



<https://forms.gle/Q1gVt5C3nP8z11LV6>

お問合せ

千葉市中央区障害者基幹相談支援センター

TEL : 043-445-7733

FAX : 043-445-7785

MAIL : chuo-kikan@cckikan.or.jp

担当：伊藤

7つの 相談支援事業所が 参加



個別防災計画を書いた方の防災訓練

千葉市避難訓練（千葉寺地区）案

～非常電源のある施設へのダイレクト避難!!～

目的 地域に向けて非常電源を整備しているうらら介護医療院に、近隣で暮らす電気の必要な重症児者がダイレクト避難訓練を行い、実際の災害時に適切に活用できるよう相互理解を深める。

日時 10月〇日

※全行程1時間30分程度を想定

対象 うらら介護医療院付近にお住いの医療的ケアの必要な重症者と家族（3～4組）

内容

- ① 事前に各自宅で防災セルフチェックを行い、災害時に必要な物品を確認する。
- ② うらら介護医療院に重症者と家族が、各自、避難支援者とダイレクトに避難する。
※自治会・民生委員・消防団等に協力が得られる場合は、同行をお願いする。
- ③ うらら介護医療院職員の方に説明をお願いし、非常電源や避難スペースの確認を行う。
- ④ 実際に非常電源を使って、バッテリーや蓄電池の充電を行ってみる。
※避難が難しい方は、蓄電池等を持って避難支援者が充電を行う。
- ⑤ うらら介護医療院の方と対象者の顔合わせの機会とし、事前に策定した避難計画を提示する。
- ⑥ 振り返り・意見交換



対象者案

| | | | | |
|---|--------------------|----------|----------------|----|
| 1 | ワークステーション りべるたす | 中央区長洲2丁目 | 呼吸器使用 重心者 | |
| 2 | 73歳 | 中央区千葉寺町 | 呼吸器・吸引・胃ろう 重心者 | 1名 |
| 3 | 53歳 | 中央区末広3丁目 | 重心者 | 1名 |
| 4 | | | | |

支援者

- ・利用しているヘルパー
- ・訪問看護・リハ
- ・相談支援専門員
- ・基幹相談員
- ・地域住民（自治会、民生委員・消防団・隣人等の中から1～2名程度）

※本人・家族を含めて合計何名程度が参加できるか、うらら介護医療院に確認し、対象者も

て同行者を選

事前準備

- ①中央区基幹中心に打ち合わせ
- ②避難訓練計画を持って、うらら介護医療院にご挨拶と説明
※千葉市防災対策課・障害福祉サービス課等も同行

■ 個別避難計画の作成のための勉強会を行う

相談支援専門員のバックアップを行い、今後の活動をしていきたい。

更に、他の相談支援専門員や居宅介護支援事業所とも連携して、勉強会を行う。

■ 個別避難計画予定者マッピング
2月29日(木) ハーモニープラザ

■ 個別避難計画報告会
3月14日



ご清聴ありがとうございました

市関係部署と連携・協力し、来年度以降も取り組んでいく予定。

